



具体的にはこんな話をしたよ!

### 松浦ってどんなまち?

- 人口が少ないけど、豊かな人間性があるな~
- 海と山しかない 志佐の中心街は30秒で 通り抜ける
- アジの水揚げ日本一
- 海がきれい
- 空気がおいしい
- 日本有数の石炭火力 発電所があるよ
- 実は、なぎなたの まちなんだな~
- 中世に松浦党という 武士の集団がいた
- 緑が美しい
- 町内会費が高い
- 陸の孤島だね 買い物などをする街 までとおいよ
- 星がきれいなまち

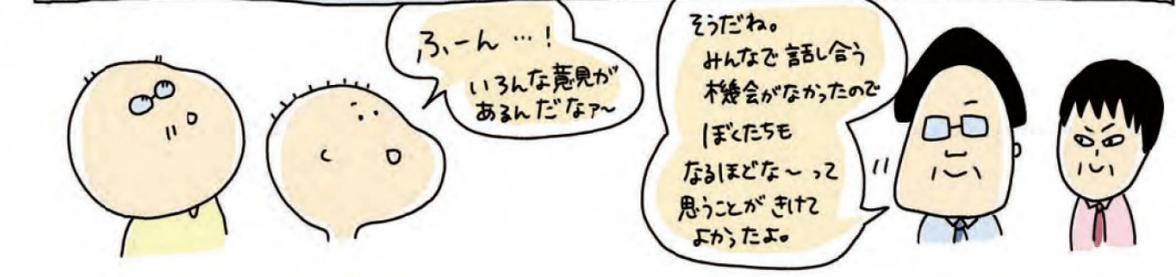
### この10年のまちづくりでイマイチだなんて思えることは?

メロンも

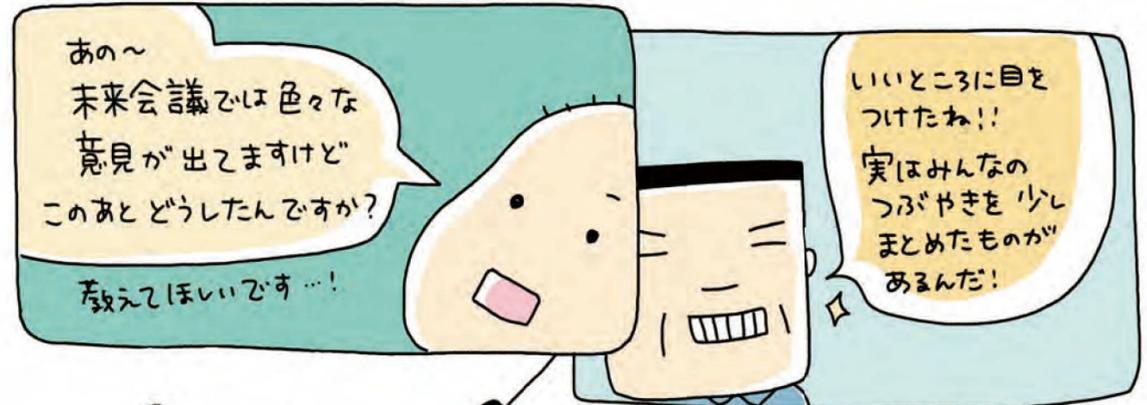
- 使っていない 田んぼや畑が 増えたな~
- 若者の転出が 空き家の増加に つながっている
- トラフグ有名だけど 地元の人が食べない
- 本屋がなくなった 学生がこまるん じゃない
- 松高への進学者が 増えない
- 子どもと遊ぶ場所が 少ない!!
- 高齢社会を支える 医療に不安が多い
- 西九州道が開通して 市外に買い物に行く 人が増えた
- 情報インフラの 未整備地区が 多いな
- 働く人の 市外への 流出
- 地区毎の行事を大事 にしてほしい

### この10年のまちづくりで良かったなんて思えることは?

- 不老山の つつじは good
- 優良企業が 増え働く場が 広がった
- 一次産業が 向上している 和牛とか養殖とか 水産加工とか
- 小中高生が 優しくて 挨拶をして くれる
- 体験型観光事業の 拡充で交流人口が 増えたよ
- 道の駅が できたので 便利だね
- 松浦の魚が 食べられる ところが増えた
- 高齢者 お出かけ券が あってよい
- 福岡や 佐世保への アクセスが 向上した
- 災害が 少ないので 安心して 住める
- マッカイ市との 交流で外国人と 触れ合う 場面が増えた
- 地域祭りの 行事が大切に されている
- 税収が 増えた



すると、また別のおじさんたちがやってきた。



未来会議で話し合った内容はこんなかんじだよ

# 自分たちにできること

- 話し合いの場をつくる** 「住民主体・子どもも参加する未来会議を自分たちの力で継続することができる」
- 地域の活性化** 「若者と高齢者が一緒になって、昔からのまちの行事を復活させることができる」  
 「行政と地域の団体が一緒になって、松浦地域の歴史、史跡を整備し、地域の活性化につなげることができる」  
 「シニア層（人生の先輩）と若い人たち（人生の後輩）が一緒になって、豊かな子育てができる」  
 「松浦市全部のボランティアと地域（各町）が一緒になって、地域の活性化につなげることができる」
- 豊かな食を楽しむ** 「食生活改善グループと生産者が一緒になって、昔の人の知恵を次の世代に引きつづることができる！」  
 「市民と農業者と水産業者が一緒になって、アジフライ、エビフライ、農産物（カボチャ・アスパラ）、フグ（からあげ）などを利用して、松浦のフライ新メニューをつくることができる」  
 「私たち水産業従事者はアジ、くるまえびなどの食べ方を伝えることができる」
- 新しい事業をつくる** 「散歩する人と手先の器用な人が一緒になって、新たな商品（ススキのほうきなど）をつくることができる」  
 「観光業者と市役所が一緒になって、市民向けの食と名所のバスツアーを企画することができる」  
 「異業種の企業と企業が一緒になって、婚活、人事交流、新業種開発、仕事の魅力再発見などができる」  
 「情報を持っている人とホームページ・SNSをやっている人が一緒になって、PRを充実させることができる」  
 「行政（空き家バンク）×建設関係業者（コンサル、不動産、設計事務所、建設）が一緒になって、空き家を活用し、活動場所を充実させることができる」
- 特色ある教育環境を創る** 「小中学校と公民館と老人会などが一緒になって、ふるさとの伝承を子どもたちにできる」  
 「学校とボランティアが一緒になって、読み聞かせを盛り上げることができる」  
 「市民と行政と学校が一丸となって、松浦高校存続・維持実現のために、  
 ①地域イベントに松高を招く（放送部、吹奏楽部、なぎなた、まつどりー焼）、  
 ②学校企画のイベントに地域の人を招くなどができる。結果、地域の中での松高の存在が大きくなり志望者が増加する」  
 「学校の存続や人口流出の防止、さらに病院や水産業に安定した人材の提供も期待して、松高と医療関係者と水産業関係者が一緒になって、看護科・介護科・水産科などをつくることができる」